市の財政状況をお知らせします 令和7年度上半期

問合せ 財政課財政係

市では、市税をはじめとした収入がどれだけあり、どのように使われているのかなど をお知らせするため、年に2回財政事情を公表しています。

入ってきたお金(歳入)

今回は、令和7年度上半期の概要をお知らせします。

合計

予 算 額 386億3,032万円

収入済額 169億2,061万円(収入率 43.8%)

上段:予算額 下段:収入済額 117億9,799万円 市民税や固定資産税 など 68億2,755万円 (57.9%) 71億3,228万円 都支出金 都からの補助金など

[14億2,695万円(20.0%) 68億5,786万円 国庫支出金 国からの補助金など 24億8,168万円 (36.2%)

48億7.452万円 所得税、法人税など 地方交付税 を財源とする交付金 33億3,446万円 (68.4%) 19億9,986万円

地方消費税を財源と する交付金 11億9,424万円(59.7%)

13億3,350万円 施設の整備を行うため 債

などに借りるお金 0.0%)

7億7,628万円 給食費など 8,278万円 (10.7%)

7億7,040万円 前年度からの繰越金 7億7,040万円 (100.0%)

6億3,592万円 他会計や基金からの 繰 入 金 繰入金 0円 (0.0%)

> 4億5.362万円 ごみ処理手数料など 1億8,380万円(40.5%)

19億9,809万円 法人事業税交付金や その他 ふるさと寄附金など 6億1,875万円 (31.0%)

一般会計の状況

9月30日現在の一般会計予算は、当初予算後に2回の補正を行い、前年度からの繰 越明許費2億9,462万円を含めて、予算総額は、386億3,032万円となっています。 収入済額は、169億2,061万円で、収入率は、43.8パーセントとなっています。 また、支出済額は、164億5,239万円で、執行率は、42.6パーセントとなっています。

使ったお金(歳出)

合 計

予 算 額 386億3,032万円

支出済額 164億5,239万円(執行率 42.6%)

子育て世帯、高齢者、 体の不自由な方の 民 生 費

183億2,889万円 81億4,498万円 (44.4%)

50億8,045万円

学校教育や文化・ スポーツの振興など

14億8,782万円 (29.3%) 38億4,019万円

上段:予算額 下段:支出済額

ごみ処理、環境対策、 衛生費 健康管理など

> 36億8,161万円 庁舎などの運営管理、 16億4,127万円(44.6%)

交通安全対策、 防犯対策など

25億8,043万円 13億 651万円 (50.6%)

18億5,414万円(48.3%)

道路や公園の整備・ 土 木 費 維持管理など

21億6,138万円 借りているお金の返済 8億5,608万円 (39.6%)

災害対策や 消防費 消防団活動など

公 債 費

12億2,241万円 5億5,125万円 (45.1%)

商工費 観光・商工振興など

6億7,634万円 3億 510万円 (45.1%)

5億1,486万円

農林水産業費 農林水産業の振興など

1億1,369万円(22.1%) 5億4,376万円

議会の運営や台風など の他 による災害の復旧など 1億9,153万円 (35.2%)

※金額は、表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係で合計数値が合わないことがあります。

特 別 会 計 及 び 公 営 企 業 会 計 の 状 況

特別会計							
区 分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率		
国 民 健 康 保 険	83億4,829万円	34億4,438万円	41.3%	29億4,930万円	35.3%		
後期高齢者医療	27億5,682万円	14億1,588万円	51.4%	8億8,905万円	32.2%		
介 護 保 険	81億7,200万円	37億4,343万円	45.8%	32億6,149万円	39.9%		
戸 倉 財 産 区	449万円	217万円	48.3%	110万円	24.5%		
秋多都市計画事業武蔵引田 駅北口土地区画整理事業	13億9,438万円	2億9,042万円	20.8%	1億9,542万円	14.0%		
テレビ共同受信事業	4,184万円	4,159万円	99.4%	844万円	20.2%		

公営企業会計 区 分 予算額 執行額 執行率 収入 22億 260万円 10億8,709万円 49.4% 収益的収支 支出 21億9,724万円 2億3,039万円 10.5% 下水道事業 収入 13億9,602万円 7.2% 資本的収支 支出 21億1,218万円 7億6,804万円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金(*)等で補てんしました。 *損益勘定留保資金…減価償却費、たな卸資産減耗費等の収益的収支における現金支出を必要としな いものを費用に計上することによって留保される資金のこと。ただし、補てん財源として使用でき る額は、これらの費用の合計額から長期前受金戻入や欠損金見込額を控除した額となります。

市有財産・基金・市債(借入金)などの状況(9月30日現在)

○**土地(学校敷地など)** 718万8,380㎡

○建物(庁舎など) 19万7.189㎡

○自動車(消防車両27台を含む) 102台 ○出資金など 9,651万円

○基金 50億6,225万円 ○市債 368億378万円

○**一時借入金** なし

提案事業参加者 域子ども 育成 募集 ij ダ

●定員…10組 (抽選)
●申込み方法…11月4日()から
●申込み方法…11月4日()から

○費用 無料
○主催 あきる野市地域子ども
育成リーダー
の政策係 対象…市内在住・在学の場所…中央公民館第1研 生の親子 -午後1時 11月29 日(土) 午前

小学室

時

下水道使用料金表

(1か月当たり・税抜)

区分	汚水量 (㎡)	(円)	(円)	差額 (円)
基本 使用料	0 ~ 10	530	681	151
従量使用料(1㎡につき)	11 ~ 20	130	167	37
	21 ~ 30	145	186	41
	31 ~ 50	170	218	48
	51 ~ 100	200	257	57
	101 ~ 200	230	296	66
	201 ~ 500	270	347	77
	501 ~ 1,000	310	398	88
	1,001 ~	345	443	98

下水道事業は、下水道を使用する方からの使用料により運営しています。市では、平成14年度の使用料改定以降、消費税率の改定を除き、23年間にわたり据え置いてきました。しかしながら、昨今の物価・人件費の高騰などにより、下水道の整備や維持管理に係る費用は、平成14年地金の引き上げも見込まれます。また、使用料による収入は、人口の減少などにより、下水道の整備や水処理を担う東京都に対する負担金の引き上げも見込まれます。また、使用料による収入は、人口の減少などにより、下水道の整備や水処理を担う東京都に対する負担金の引き上げも見込まれまりでは、下水道事業は、下水道を使用がより運

-水道使用料を改定します-和8年4月1日から

ページをご覧くださ

をご覧ください。詳しくは、市ホー 生活排水対策課 j ム

ご協力をお願いいたします。料の改定を行います。ご理解とサービスを提供するため、使用 下水道事業を運営し、適正なにわたって安定的かつ持続的にこのような状況を踏まえ、将来 ▽**改正内容** 基本使用料と従量 定率は、一律28・5 対増加と 使用料の合計金額となり、改 難な状況となっています。

【参考】1か月25㎡を使用した場合 現行の使用料2,810円が3,609円となり、799円の引上げとなります。

〈内訳〉

10㎡以下の分 = 681円 7 11㎡~ 20㎡ 167円×10㎡ = 1,670円 3,281円 $21 \text{ m} \sim 25 \text{ m} 186 \ \text{円} \times 5 \text{ m} = 930 \ \text{円}$

328円 (消費税相当分)



電子申請